

# 報恩会 10月23日(日)

午後13時30分より ※午後からの法要のためお食事をすませてからお越しください

※曹洞宗管長晋山式にあたり10月10日から23日に変更となりました。

## 東堂様十三回忌法要

～両祖様、御先祖様への感謝報恩のお勤めを致しましょう～

御導師 實相山中央寺住職 熊谷忠興 大方丈様

●御志納供養 御本寺富山県繁久寺住職 松井一裕 大和尚

お申し込みは月参りの際、もしくは御郵送の場合は、お申し込み用紙を返信用封筒にて御郵送頂き、ご供養料は郵便局の振込用紙をお使い下さい。



●開拓殉難者供養 ～北海道の開拓の礎となられた殉難者のご供養です～ 12時より

御法話 曹洞宗嶽山会会長 清田区清泉寺住職 田村保治 老師

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。お客様におかれましても感染防止策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。
・ご自身の健康状態を確認してご来場ください。エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。
・ご来場の際はマスクを着用してください。
・咳エチケットを遂行していただきますようお願い申し上げます。

# 道しるべ

宮の森 大乘院

秋号



大乘院寺報 令和4年9月 第89号  
〒064-0958 札幌市中央区宮の森1263-3  
電話(011)641-8904 FAX(011)631-0004  
E-mail yakuou@triton.ocn.ne.jp

# 報恩会

10月23日(日)

## 東堂様十三回忌法要

～先代住職 惇風孝印大和尚称名(十三回)忌～



「御先祖様のお陰」で今の私があります。多くの御先祖様に感謝し、今いただいている尊い命の御縁に気づき、報恩の気持ちをあらわすのが、法事のまごころです。

当山を築いた、東堂様の13回忌法要も併せて行います。共に両祖様、御先祖様への感謝報恩のお勤めを致しましょう。



### 年内の法要

●9月23日 秋彼岸法要 14時より  
お彼岸の中日に御先祖様への感謝報恩のお勤めを致します。

●10月10日 永代供養納骨法要 14時より  
永代供養にお申込みされた方の納骨法要です。今後はお寺が御骨の管理・供養をさせていただきます。

●10月23日 報恩開山忌 13時30分より  
惇風孝印大和尚称名(十三回)忌  
東堂様の13回忌法要、両祖様、御先祖様への感謝の報恩のお勤めをいたしましょう。

●12月8日 釈尊成道会～総代役員会  
お釈迦様がお悟りを開かれた日を記念した法要です。新本堂にて午後よりお勤め致します。

●12月31日 除夜法会～修正会  
大晦日の午後十一時四十五分より、世界一の大きな鐘を撞いてお勤め致します。行く年に感謝を捧げ、新たな年の無事を祈りましょう。年始の施しものや開運グッズもあります。新たな年の始まりはお寺で迎えましょう!  
※年越しそばや甘酒、年始状況に応じてお食事は中止する場合がございます。



### 活動のご案内

葉王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

#### 子ども空手教室

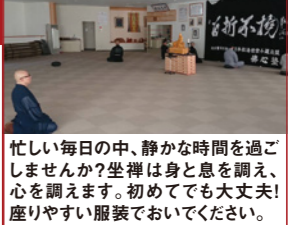
心と体を鍛えましょう  
毎週月・木・土曜日  
午後5時より  
お寺



共に心と体を鍛え「自分力」を磨きましょう初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。幼稚園のお子様から始められます。

#### 坐禅会

体と心を鍛えましょう!  
毎月1日・15日  
午前7時より  
参加無料



忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

#### ご詠歌

仲良く楽しく  
唱えましょう  
毎週金曜日  
午後1時より  
会費あり



ご詠歌を聞かれた事はありますか?亡き人への追憶の思いに涙があふれてきます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

#### ヨガ教室

心と体と向き合ひましょう



呼吸とポーズを組み合わせたヨガは、心身をリラックスさせ、不調を整える効果があると言われています。

#### スキー少年団

心と頭と感性を磨きましょう



お寺では、住職の長女・亜実さんがお手伝いしているアルペンスキー少年団の指導も行っており、心と身体と感性を一緒に磨いてトレーニングに励んでいます。

### 親孝行・・・

親孝行したいときに親はなしという諺があります。

子供や青年期には、なかなか親の有難みに気が付きません。当然、親への恩義も感じられません。

親としては、我が子を真つ当な大人にしたいとの強い思いがあります。世の常識、規則を論じ、将来、忍耐力や自立心を持つ豊かな人生をとの願いです。

しかし、子供に、この親の思い通りにはいきません。我が子に良かれと論じ、怒り、叱り、時に手が出ることもあります。我が子が駄目になれと願う親はいないのですから。残念ながら子供にとって、親は自由(我儘)を邪魔する敵対者でしかないのです。

反発し暴走し家出なんてことも。親子なら誰もが味わう経験。両親、祖父母、曽祖父母・・・皆、そうでした。誰もが戸惑います。そしてこんな時、昔から親に想いを馳せて来たのです。「自分の両親は、一体どう自分を論じたのか」と。同時に、「何だ、我が子への説教が自分も親と同じではないか」と気がきます。子供の躾や方法がどこの家庭でも違うのは、先祖代々、無意識に、そして知らずと受け継がれているのでしょうか。

これがわかるのは、子育てを経験した頃。そして親の有難さを感じるのは、子供が大人になって安堵した頃です。丁度、親が年老いたり、旅立ちの時と重なるのでしよう。

住職 田中清元

### 編集後記

### 自分の仕事

どんな仕事でも世の中に必要であれば成り立つもので、世の中の人が求めてなければ、成り立ちません。しかし、その仕事で自分の仕事だと思うのは、とんでもないことで、本当は世の中にやらせていただいているのです。その仕事への熱意は、もつとも大切なことで、その仕事で伸びるか伸びないかは、世の中が決めてくれます。今、やらせていただいている仕事を誠実に、謙虚に、熱心に、そしてまわりの仲間のお手伝いをし、沢山の徳を学べる。自分だけがどうしてこんなに苦労をしなきゃいけないのか、あの人は楽をしているのでは。

そんな小さな事が本質的な所ではなく、目の前にある自分の仕事を熱心に行い、その時間と生きている事に感謝が出来れば仕事は苦しいではなく大変だけれど生き甲斐に変わると思えます。そしてご縁に感謝出来る自分になっていくものだと感じております。

院代 慎龍 合掌

「親孝行したいときに・・・」となるのです。親孝行とは、愛情、感謝、特に「恩」と体のものです。仏教では「恩」を最も大切にし、「二親は最神なり」(仏教最初の漢訳経典「四十二章経」と、神に仕えるなら親に仕えなさいとまで言い切っています。同時に、仏教による人間の価値基準は「知恩、感恩、報恩」で決まると説きます。どんなに能力、実績、金があっても、恩を知り、恩を感じ、恩に報いることに勝るものはない。龍樹菩薩はその教えに「恩を知らざるもの畜生よりも甚だし」とまで表現しています。

私たちの子育ては、「知恩、感恩、報恩」を学ぶ最高の機会なのです。取り分け、「報恩」は、自らの人生の成就に向けて不可欠。せめて、両親への感謝を表するのは人間の崇高なお務めでしょう。

科学万能時代になると、何故か所謂カルト宗教や教団が跋扈します。「先祖が苦しんでいるから大金を出せ」など言語道断です。ご先祖様は、私たちの感謝と「報恩」の想いを伝えることで、豊かな喜びと平穏を得ているのです。

十月二十三日は、師父の十三回忌法要。葉王寺先代様、大教師淳風孝印大和尚品位。

私もまた「恩」を問われています。

合掌



# 新盆供養

8月15日

初めてお盆を迎える  
御霊のご供養



な中、御参列の皆様全員が一人ずつ灯明をお供えいたしました。薬王寺梅花講の「新亡精霊供養御和讃」を参詣者の

本年も今年初めてお盆を迎えられる仏様の法要、新盆供養を新型コロナウイルスの対策を行い執り行いました。詠讀歌がお唱えされる荘厳

皆様が配布された歌詞を目で追い、共に唱和される方、目に涙を浮かべられる方、各々御霊安かれと手を合わされました。この度上山出来なかった方も含め、皆さんが建立された御塔婆を田中清元御住職が一枚一枚丁寧に読み上げご供養下さいました。



# お盆法要

8月20日



薬王寺恒例の蘭盆会大法要が営まれました。新盆に引き続き新型コロナウイルスの対策を行う中、多くの皆様が先祖様や大切な方の御供養の為に御参詣下さいました。

本年は曹洞宗北海道管区禅センター講師で禅林寺の御住職日比健士老師に孟蘭盆会の供養とは、そして先祖様への感謝の意味を、ご丁寧に御法話頂きました。

大塔婆供養では、皆様が御供養を志し建立された六尺程もある大塔婆と四尺の中塔婆をおよそ800柱を大導師の当山田中清元御住職、千走寺・村上秀典御住職、円龍寺・桑田龍一御住職の三人で一枚一枚読み上げご供養を致しました。最後にお役目の終わった御塔婆やお守り、お札などのお焚き上げ供養を致しました。総代長の東原敏郎様よりご挨拶をいただきました。



# 永代供養塔法要



真夏の宮の森を彩る永代供養塔法要を山内一同で執り行いました。お寺の管理だからこそ安心して頂ける永代供養。末永くお寺がお守り致します。

# 大本山總持寺にて当山開創二世 惇風孝印大和尚13回忌法要

9月15日



当山の先代東堂様の13回忌法要が、大本山總持寺（神奈川県横浜市）において追善の供養が行われ、全国各地からご縁をいただいた多くの皆様にご参列賜りました。総持寺猥下石附禅師より方丈様へ労いのお言葉が送られ、鈴木宗男議員、東原俊郎（太陽グループ会長）檀家総代長も参列、石附禅師導師のもと沢山の僧侶の読経が行われ、渡辺監院老師も随喜されていました。方丈様は須弥壇（しゅみだん）の上上がった東堂様の御位牌を見上げて思いを馳せて焼香されました。その後、寺族と役15名の檀信徒も丁寧に焼香されました。ご参列くださいました方々、ご縁いただきました皆様にあらためて感謝申し上げます。



※なお10月23日、当山薬王寺にて恒例の報恩両祖忌にて13回忌法要を行います。

# 「新盆法要に参加して」

奥秋誠様

今8月15日、薬王寺さんに新盆供養で家族揃ってお邪魔させて頂きました。昨年10月、妻が突然亡くなりました。入院して治療はしていたので、皆「まさか」との思いでした。薬王寺さんとは、長い付き合いだったので、その後の事は全て「おまかせ」でした。その節は本当に有難うございました。亡き妻も薬王寺さんの事は普段から信頼しきっておりましたので、「安心」して新しい場所へ過していると思えます。私が暗い気持ちにならず、前向きに生活していけるのは薬王寺さんが亡き妻を守ってくれてお陰です。あらためて御礼申し上げます。感謝

# 「惇風孝印大和尚」田中孝印

- ◎ 大正十四年十二月七日、富山県氷見市「浄土真宗蓮浄寺」の御住職「義印」の11人兄弟の8番目4男として誕生。
- ◎ 父義印につき得度、昭和四十二年札幌市に於いて円山大乗院建設期成会設立。
- ◎ 昭和四十五年札幌市円山西町に慰霊堂法輪閣建立。後の曹洞宗管長、中央寺七世泰慧玉禅師様を御本尊の開眼式を執行。
- ◎ 昭和五十九年現在の宮の森に移転。
- ◎ 同年六月二十二日、曹洞宗薬王寺として承認されその後昭和六十年地蔵堂、放光堂などを建立。
- ◎ 昭和六十二年境内地整備北海道開拓殉難者慰霊碑建立。
- ◎ 北海道開拓に従じられた中国・朝鮮・韓国より強制連行の人々の慰霊の為その国々へ慰霊訪問。中国より千手観音、韓国より阿弥陀仏及び大きな画仏を迎え、市民と共に中国・韓国の僧侶、道内の僧侶と共に開拓殉難者慰霊法要を執行。
- ◎ 昭和六十三年日本二の大警制作を発願、六角堂特別墓所の建造に着手。
- ◎ 昭和六十四年（平成元年）大盤堂ならびに六角堂特別墓所完成。本堂庫裡礼拝施設を完備し日中韓国仏教との交流、イギリス、ソビエト、中国仏教会等の親善交流を深め、人生相談、一日僧尼修行等、仏教伝導につとめられた。
- ◎ 大本山永平寺導師、大本山總持寺導師を務め、曹洞宗大教師を拜命。

# お盆前掃除とお下げのお手伝い

お盆の前の七月二十九日と、お墓参りの最終日の八月十六日のお下げの日に、婦人会、御詠歌講、有志の皆様にお手伝い頂き大掃除が行われました。お掃除後には皆様の御先祖様の御供養のお勤めをさせて頂きました。

# 《参加者の皆様》

- |            |            |
|------------|------------|
| 中央区 米山和子 様 | 西区 深瀬由香里 様 |
| 西区 御法川 様   | 中央区 橋坂奈央 様 |
| 南区 村松佳代子 様 | 中央区 斎藤康弘 様 |
| 西区 羽澤裕子 様  | 南区 松山晃由 様  |

# 皆様ありがとうございました！

# 磯部義男 法師 逝去

大正14年2月11日生まれ



やわらぎ斎場の創設メンバーの1人として活躍され、業界に幅広い人脈を持ちその人柄から誰からも愛されていた磯部義男さまが逝去されました。当山現住の田中清元大和尚との出会いは大乗院で先代住職の弟子となり、僧侶をしながら宮の森霊園を任せられ、多くの御檀家様と交流がありました。令和4年8月25日に旅立たれました。磯部さまの遺された思い出や、長い間尽くされたお心は、これからも大乗院の宝物として受け継がせて頂きます。

心より哀悼を捧げ、感謝申し上げます。山内一同 合掌